



平成24年3月期 第2四半期決算説明会

説明者

代表取締役社長	種村	均
取締役執行役員財務部長	加藤	博



本日の内容

1. 平成24年3月期
第2四半期連結決算の概要
2. 平成24年3月期
連結業績予想と重点政策

連結子会社

連結 20社 減少3社

(株)ノリタケボンデッドアブレーション

(株)ノリタケスーパーアブレーション

(株)ノリタケデンタルサプライ

持分法 4社 増加1社

クラレノリタケデンタルホールディングス(株)

連結決算の概要

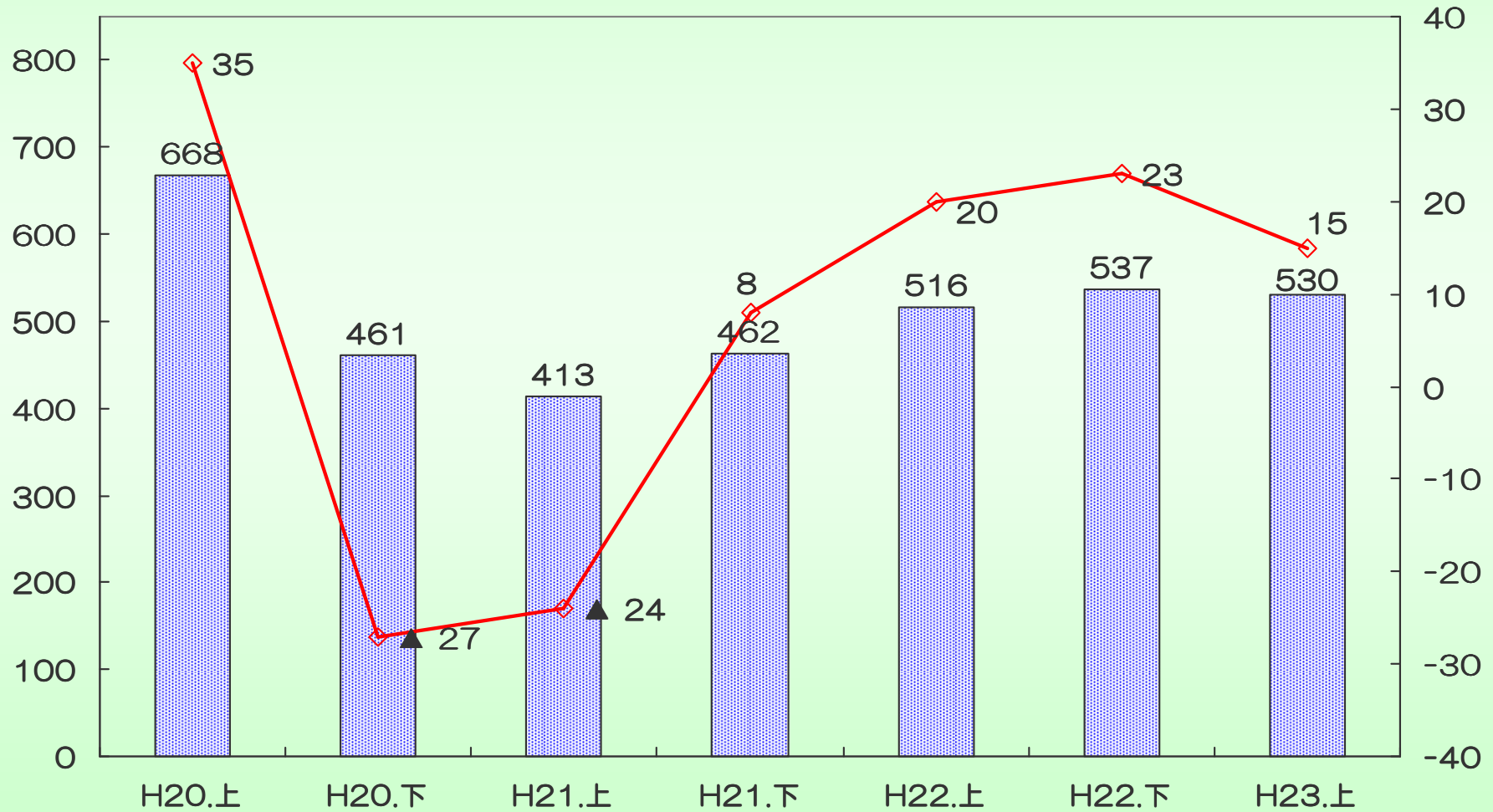
(単位：億円 未満切捨)

	H22/9	H23/9	前年同期比
売上高	516	530	2.7%
営業利益	20	15	△23.4%
経常利益	22	19	△10.7%
当期利益	9	45	394.7%
1株利益	6.47円	32.64円	
中間配当	2.5円	4.0円	

連結損益の推移

■ 売上高 (左軸 億円)

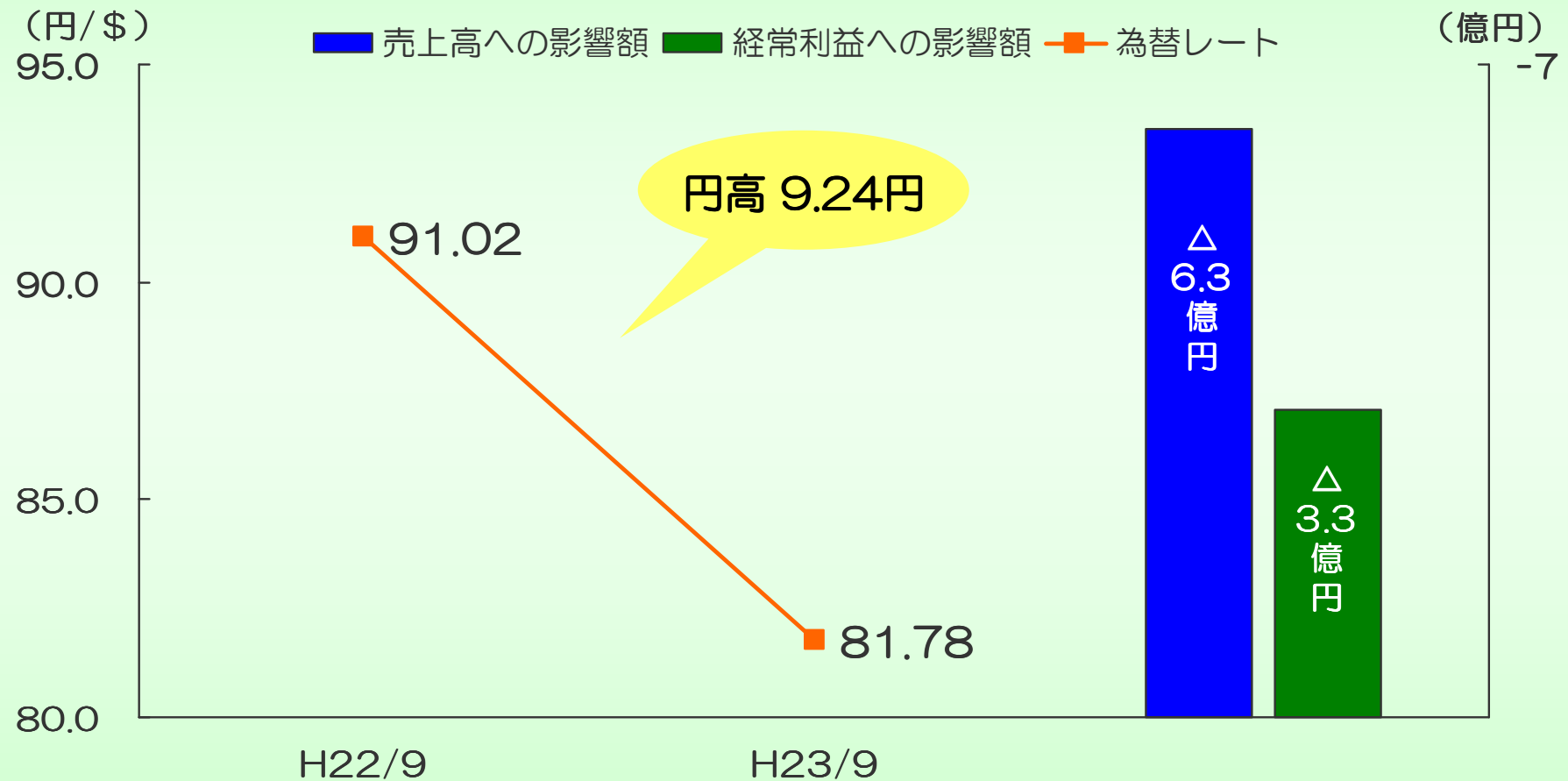
◆ 営業利益 (右軸 億円)



P/Lの主な変動


	H22/9	H23/9	比較
売上高 総利益率	28.0%	24.0%	△4.0%
売上高 販管費率	24.1%	21.1%	△3.0%
営業利益率	3.8%	2.9%	△0.9%
経常利益率	4.2%	3.7%	△0.5%

為替の影響



連結経常利益の変動要因

H22年9月期 経常利益 22億円



増加要因	15億円
売上高の増加	1億円
一般管理費・販売費の減少	12億円 ※
持分法投資損益	2億円
減少要因	18億円
為替の影響	3億円
原材料価格の高騰	5億円
生産体制・事業再構築	10億円 ※

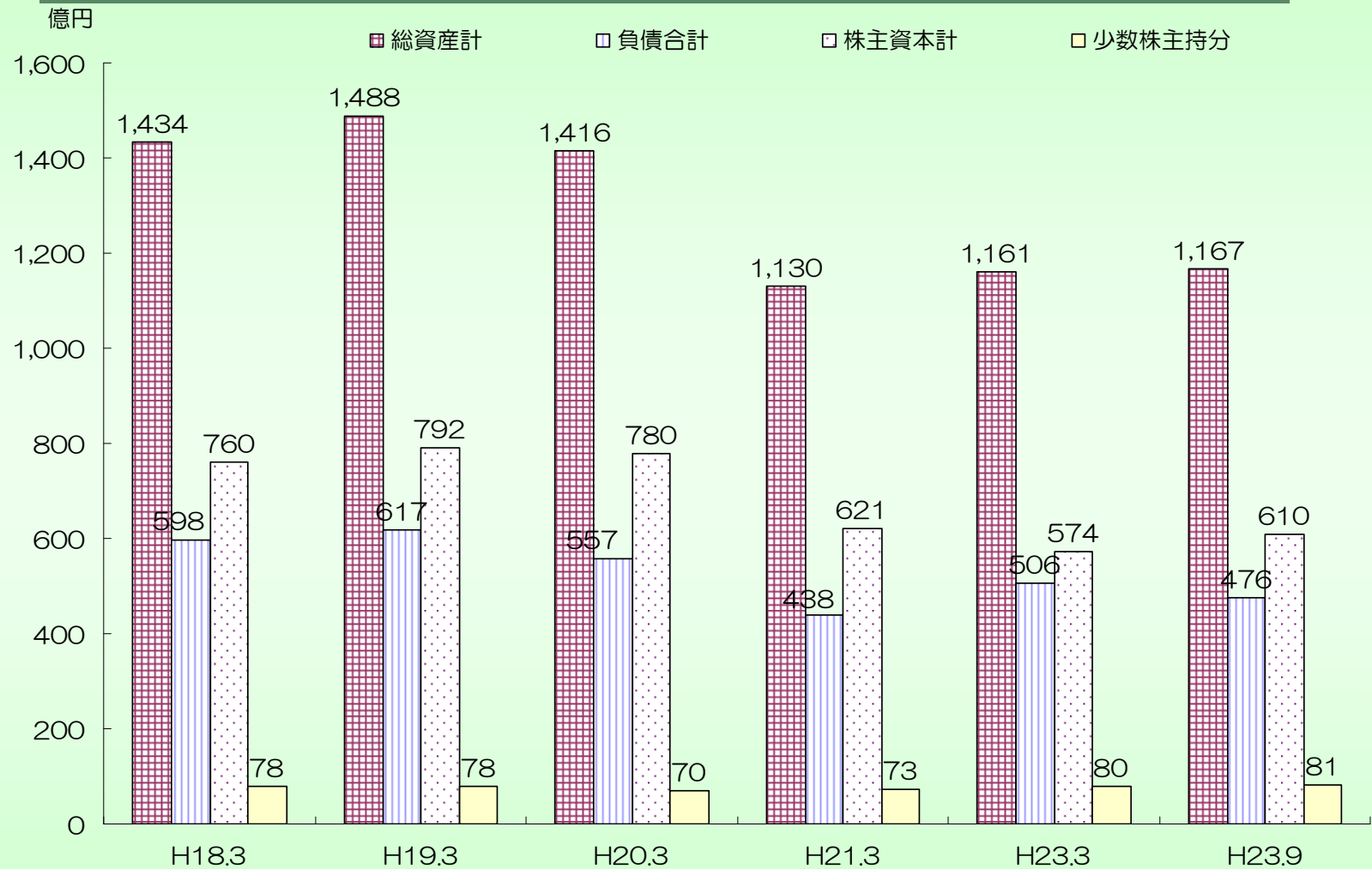
H23年9月期 経常利益 19億円

※ 本社への製造子会社統合に伴い技術部門の一部が製造勘定に組み入れられた影響額 6億円を含む。

特別損益

(特別利益)		<u>38億円</u>
内訳	固定資産売却益 (厚木土地)	28億円
	持分変動利益	10億円
(特別損失)		<u>△2億円</u>
内訳	固定資産処分損	△2億円

貸借対照表残高の推移



	H19.3	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	H23.9
株主資本比率	53.3%	55.1%	55.0%	54.2%	49.5%	52.2%

10

比較貸借対照表

(単位：億円 未満切捨)

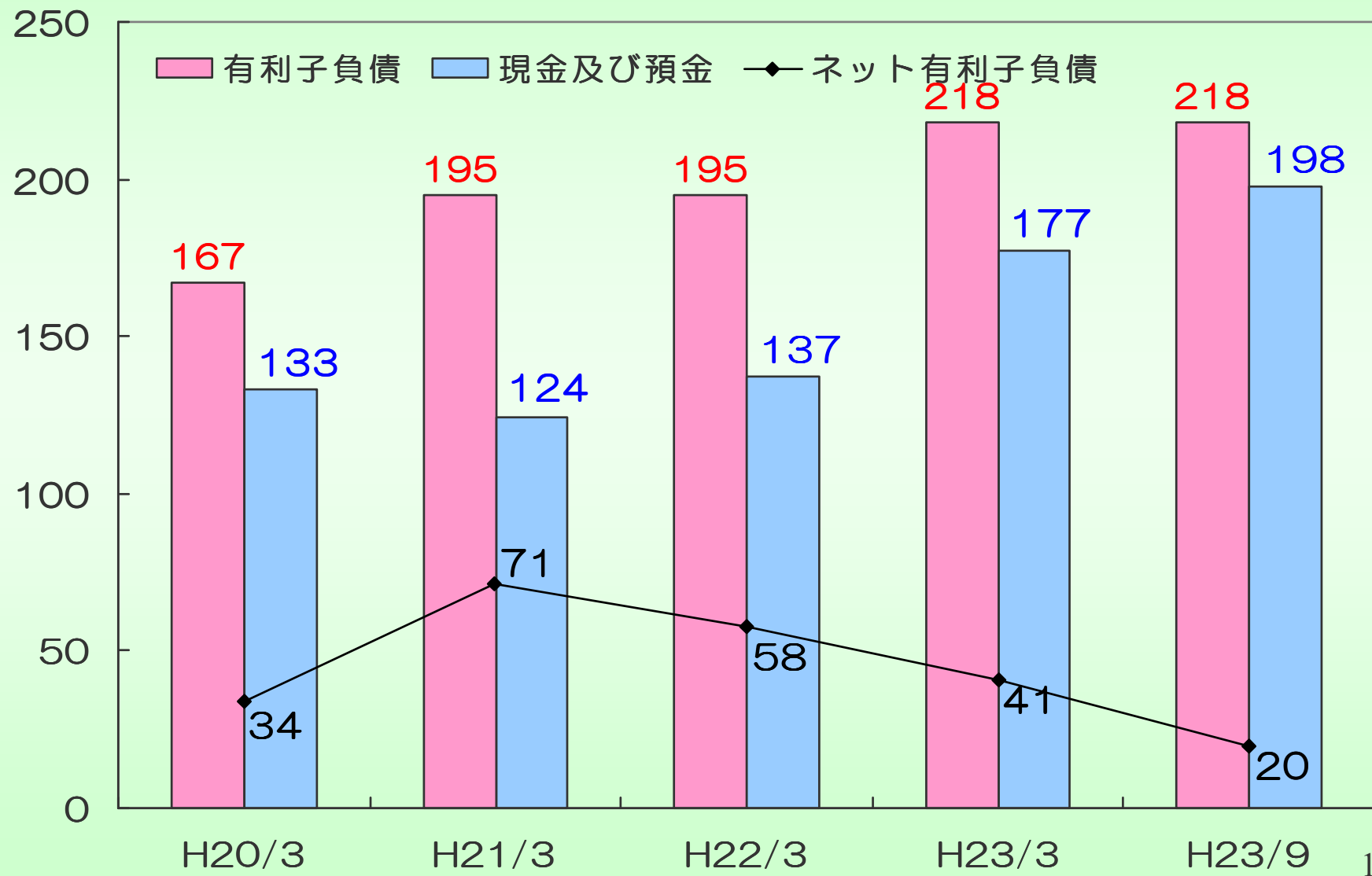
	H23/3	H23/9	増 減
総 資 産	1,161	1,167	6
流動資産	653	650	△3
固定資産	507	517	10
負 債	506	476	△30
純 資 産	654	691	37
(内、少数株主持分)	(79)	(81)	(2)
一株当り純資産	411 円	436 円	25 円

貸借対照表の主な変動

(単位：億円 未満切捨)

	H23/3	H23/9	増 減
現金及び預金	170	194	24
受取手形及び売掛金	299	282	△17
投資有価証券	172	189	16
支払手形及び買掛金	183	159	△24
繰延税金負債	23	17	△5
有価証券評価差額	27	21	△6

有利子負債残高



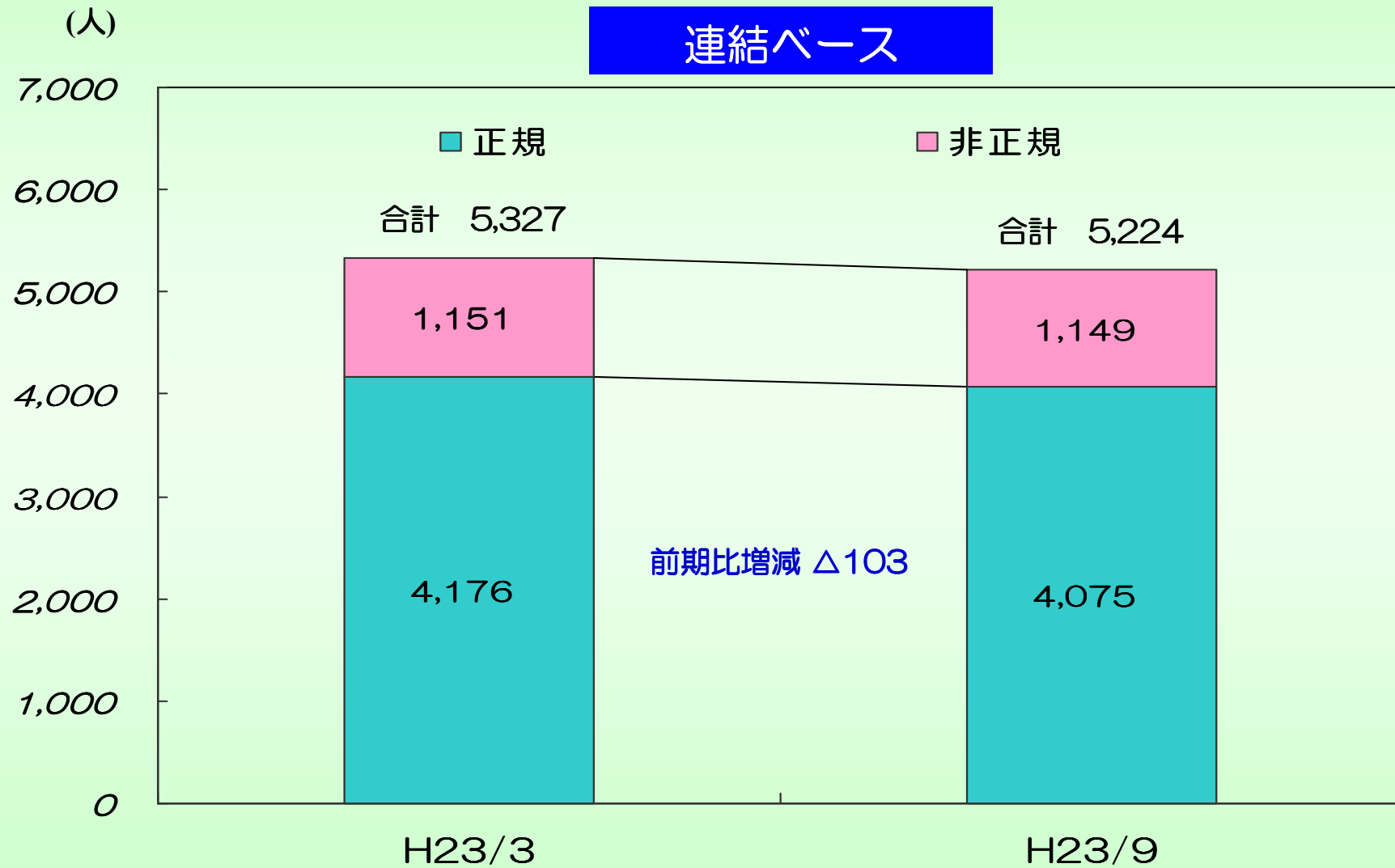
キャッシュフロー

(単位：億円未満切捨)

	H22/9	H23/9	増 減
営業活動によるCF	46	24	△22
(内、法人税等)	(△2)	(△5)	(△3)
投資活動によるCF	△14	2	16
フリーキャッシュフロー	31	26	△5
財務活動によるCF	△26	△4	22
(内、長短借入金純増減)	(△11)	(△0)	(△11)
現金及び同等物残高	122	180	58

期末人員数

連結ベース



セグメント別動向

— 事業概況 —

工業機材

研削砥石 ダイヤ・CBN 工具 研磨布紙

セラミック・マテリアル

電子 μ -スト
セラミック資材 厚膜回路基板 石膏
蛍光表示管 共立マテリアル

エンジニアリング

乾燥・焼成炉 濾過装置 研削機械等

食器

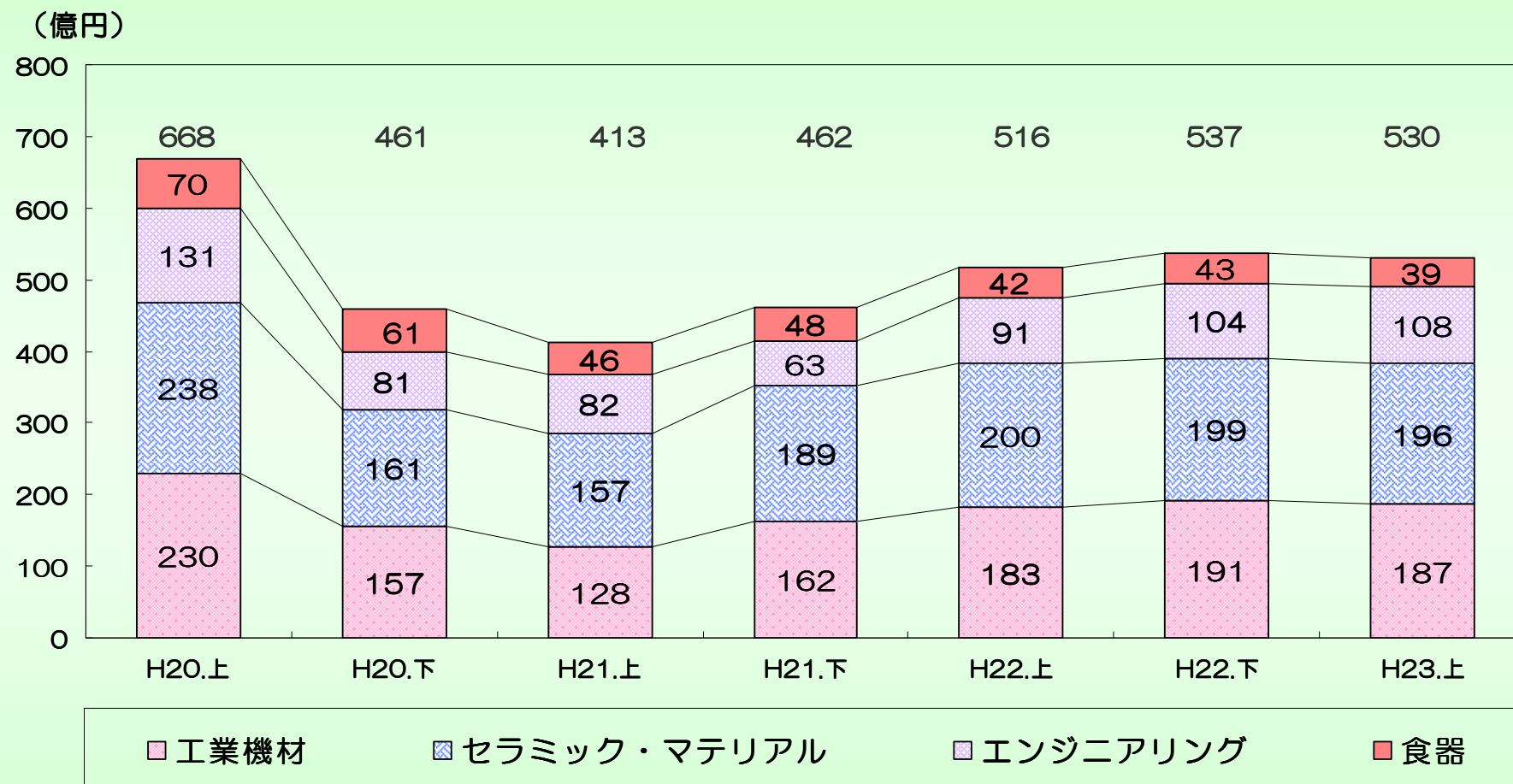
米州 欧亜 国内

セグメント別売上高（前年同期比較）

（単位：億円）

	H22/9	H23/9	前年同期比
工業機材	183	187	2.2%
セラミック・マテリアル	200	196	△1.7%
ITツギ アプリック	91	108	18.9%
食器	42	39	△8.6%
合計	516	530	2.7%

セグメント別売上高推移



セグメント別営業利益

(単位：億円)

	営業利益		営業利益率	
	H22/9	H23/9	H22/9	H23/9
工業機材	3.7	5.7	2.1 %	3.1%
セラミック・マテリアル	20.4	15.4	10.2 %	7.8%
インジニアリング	△0.5	△2.1	△0.6 %	△2.0%
食器	△3.5	△3.7	△8.2 %	△9.5%
計	20.1	15.3	3.9 %	2.9%

工業機材事業

(単位：億円)

売上高	H22/9	H23/9	前年同期比
研削砥石	71	74	3
ダイヤ・CBN 工具	59	60	1
研磨布紙	33	33	△1
関連商品	18	19	1
合計	183	187	4

セラミック・マテリアル事業

(単位：億円)

売上高	H22/9	H23/9	前年同期比
電子ペースト	48	68	20
セラミック部品	15	10	△4
デンタル・石膏	19	9	△10
厚膜回路基板	13	12	△1
蛍光表示管	31	28	△3
共立セラミック原料	38	40	2
共立電子部材	36	29	△7
合計	200	196	△3

エンジニアリング事業

(単位：億円)

売上高	H22/9	H23/9	前年同期比
乾燥・焼成炉	68	84	16
濾過装置	8	9	1
研削機械	10	7	△3
スタティックミキサー等	4	7	2
合 計	91	108	17

食器事業

(単位：億円)

売上高	H22/9	H23/9	前年同期比
米州	10	10	0
欧亜	9	10	0
国内	23	19	△4
合計	42	39	△4

平成24年3月期 連結業績予想

(単位：億円 未満切捨)

	H23/3			H24/3				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期増減	増減率
売上高	516	537	1,053	530	510	1,040	△13	△1.3%
営業利益	20	23	43	15	7	22	△21	△49.1%
経常利益	22	26	48	19	12	31	△17	△36.0%
特別損益	△4	△7	△11	35	△4	31	42	—
税前利益	17	20	37	55	7	62	25	67.4%
当期利益	9	9	18	45	2	47	29	153.0%
US\$為替	87円			79円 (8円の円高)				

24

連結経常利益（予想）の変動要因

H23年3月期 経常利益 48億円



増加要因	23億円
一般管理費・販売費の減少	20億円 ※
持分法投資損益	3億円
減少要因	40億円
売上高の減少	6億円
為替の影響	8億円
原材料価格の高騰	10億円
生産体制・事業の再構築	16億円 ※

H24年3月期 経常利益 31億円

※ 本社への製造子会社統合に伴い技術部門の一部が製造勘定に組み入れられた影響額 12億円を含む。

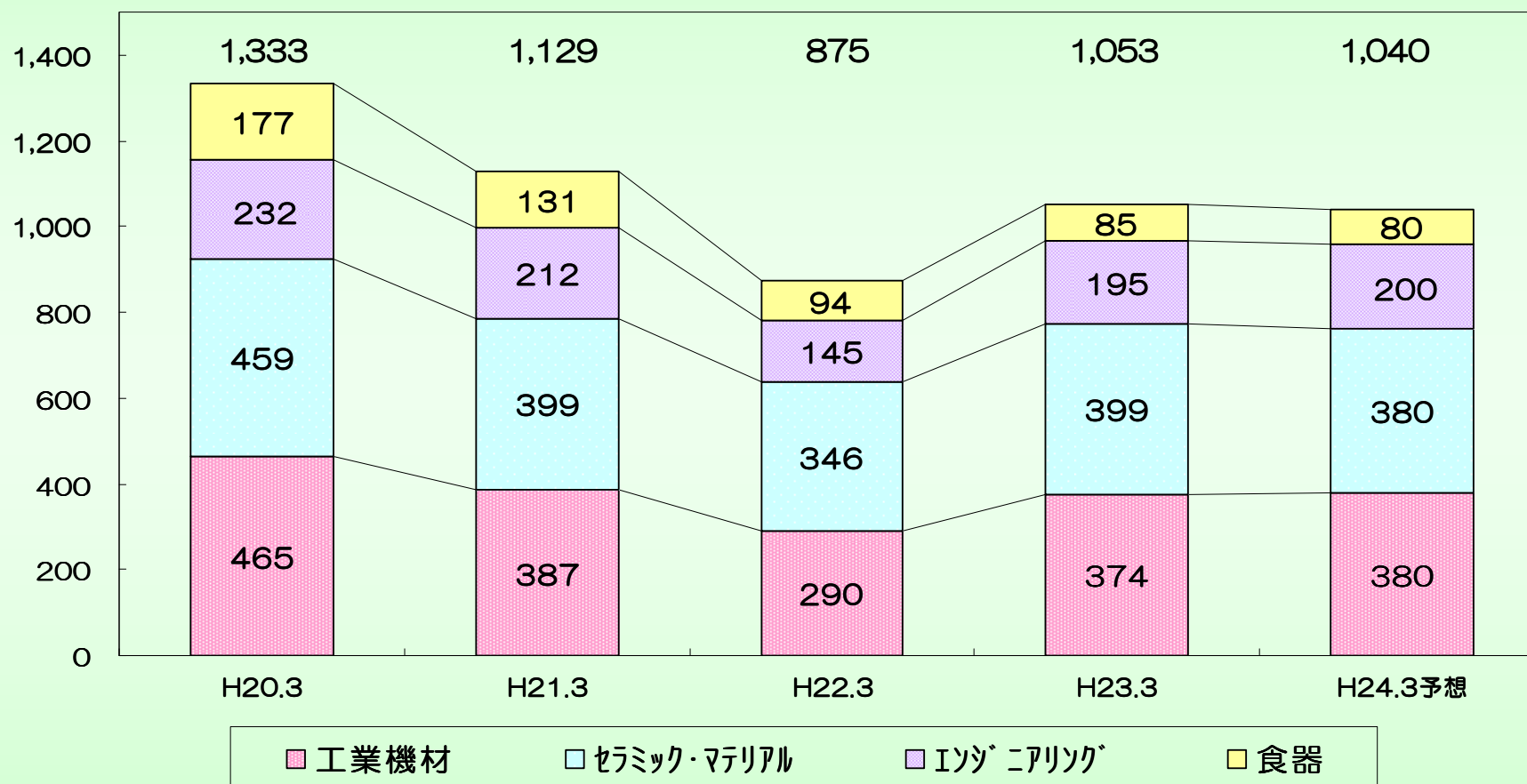
セグメント別業績予想 (前年度比較)

(単位：億円)

	H23/3		H24/3		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
工業機材	374	13.2	380	12.0	6	△1.2
セラミック・マテリアル	399	39.1	380	20.0	△19	△19.1
インジニアリング	195	△1.8	200	△2.0	5	△0.2
食 器	85	△7.3	80	△8.0	△5	△0.7
合 計	1,053	43.2	1,040	22.0	△13	△21.2

セグメント別売上高推移

(億円)



平成24年3月期の重点政策

1. 新エネルギー分野向け新商品開発
2. 海外事業展開の推進
3. 本社一体型経営体制の整備

1. 新エネルギー分野向け新商品開発

- ① 太陽光発電向け電極ペースト
- ② ダイヤモンドワイヤー
- ③ リチウムイオン電池用焼成炉・乾燥炉



量産型ローラーハース式焼成炉システム

2. 海外事業展開の推進

- 目的：
- ・新興国市場の開拓
 - ・製造コストの削減

対応：タイでのダイヤモンド工具の工場新設
及び砥石のOEM調達先の育成
中国での研削砥石工場建設

3. 本社一体型経営体制の整備

目的： ・ 「経営の選択と集中」の推進
・ 組織のスリム化・効率化

対応：コンプライアンス、人事・会計システム、
環境対応等、経営インフラの一元的整備
及び「ものづくり」の強化

ご清聴有難うございました。

Noritake

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。